

岩手労働局発表  
平成27年1月16日

【照会先】  
岩手労働局労働基準部健康安全課  
課長 安倍 賢  
主任安全専門官 村井 雄亮  
(電話) 019-604-3007

## 平成26年(12月まで)の労働災害発生状況(速報値)を公表します

~平成26年の労働災害による死傷者数は、前年同期比15人(1.1%)増加~  
~同死亡者数は、前年同期比6人増加~

岩手労働局(局長 弓 信幸)は、平成26年12月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成26年12月までの死傷者数は前年同期比で15人(1.1%)の増加となっています。また、死亡者数は24人となっており、前年同期比で6人の増加となっています。

岩手労働局では、5年連続での労働災害の増加となっており、平成27年は労働災害の増加に歯止めをかけ、減少に転じさせるためにも、年当初の1月から2月期にかけての冬季特有災害防止への取組が重要であることから、「いわて年末年始無災害運動(12月~1月)」の残りの期間及び2月期において、冬季における「転倒災害防止対策」・「交通労働災害防止対策」(別紙リーフレット)を各災防団体など83団体に緊急要請(別添要請文)するなど、労働災害防止対策に重点的に取り組んでいます。

業種別等の発生状況は以下のとおりです。

### 1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】

#### (1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,346人で、前年同期比で15人(1.1%)増加となっています。

#### (2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、増加数が多い順に、製造業300人(同+41人、15.8%)、その他業種151人(同+22人、17.1%)、運輸交通業155人(前年同期比+15人、10.7%)、農林業74人(同+2人、2.8%)

となっています。

前年同期比で減少した業種は、減少数が多い順に、商業152人(同-35人、-18.7%)、通信業28人(同-13人、31.7%)、接客娯楽業58人(同-8人、-12.1%)、保健衛生業95人(同-3人、-3.1%)、畜産水産業50人(同-2人、-3.8%)となっています。

### (3) 事故の型別状況 【グラフ1】

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、283人(21.0%)となっています。次いで、「墜落・転落」によるものが、259人(19.2%)、「はさまれ、巻き込まれ」164人(12.2%)の順となっています。

## 2 死亡災害 【表1】・【表2】・【表3】

### (1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は24人(速報値)で、前年同期比で6人増加となっています。

### (2) 業種別の状況

業種別では、建設業が8人と最も多く、商業、運輸交通業が各4人、製造業、清掃・と畜業が各2人、教育・研究業、その他の事業、漁業及び鉱業が各1人となっています。

前年同期比では、林業で3人、漁業で1人減少していますが、建設業で4人、運輸交通業で2人、清掃・と畜業、製造業、商業及びその他の事業で各1人増加しています。

### (3) 事故の型別状況

「墜落、転落」が8人、「交通事故」が5人、「激突され」、「はさまれ、巻き込まれ」が各3人、「崩壊、倒壊」が2人、「飛来、落下」、「激突」及び「感電」が各1人となっています。

前年同期比では、「墜落、転落」で3人、「崩壊、倒壊」及び「交通事故」で各2人、「はさまれ、巻き込まれ」、「激突」及び「感電」で各1人増加しており、「転倒」、「飛来、落下」、「破裂」及び「その他」で各1人減少しています。

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		26年	25年	増減数	増減率								
製造業	食料品	30	17	13	76.5%		6	10			10	4	
	上記以外の食料品	80 (2)	70	10	14.3%	30	2	1	16	12	4	15	
	繊維・衣服その他繊維製品	10	6	4	66.7%	2			2	5		1	
	木材・木製品、家具・装備品	45 (1)	42 (1)	3	7.1%	8	9	2	8	4	5	9	
	パルプ・紙、印刷・製本	10	11	-1	-9.1%	1			4	5			
	化学工業	14 (1)	15 (1)	-1	-6.7%	4		4	4	1	1		
	窯業土石製品	20	18	2	11.1%	1	3	3	7	3		3	
	鉄鋼業、非鉄金属	11	8	3	37.5%	3			6	2			
	金属製品	26	25 (1)	1	4.0%	4		1	7	12	1	1	
	一般機械器具	12 (1)	11	1	9.1%	1	1	1	9				
	電気機械器具	9	11	-2	-18.2%	1	2	1	3	1		1	
	輸送用機械製造	10	6	4	66.7%	1	1	1	4		3		
	電気・ガス	0	0	0									
	その他の製造業	23	19	4	21.1%	7	1		9	3		3	
小計	300 (5)	259 (3)	41	15.8%	63	25	24	79	48	24	37		
鉱業	6	6	0	0.0%	1			2		1	2		
建設業	土木工事	95 (5)	81 (15)	14	17.3%	20	19	10	18	6	15	7	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	26 (5)	33 (5)	-7	-21.2%	3	3	2	9		6	3
		木造家屋	69	82	-13	-15.9%	16	4	8	12	11	9	9
	その他の建築工事	44 (2)	55 (3)	-11	-20.0%	19	1		12	4	1	7	
	その他の建設	41 (11)	28	13	46.4%	15	3		3	11	7	2	
小計	275 (23)	279 (23)	-4	-1.4%	73	30	20	54	32	38	28		
運輸交通業	道路貨物運送業	131 (10)	125 (7)	6	4.8%	59	9	6	33	13	4	7	
	その他の運輸交通業	24	15	9	60.0%	16	1		5	2			
貨物取扱	貨物取扱	2	2	0	-100.0%	1	1						
農林業	農業	8 (1)	15	-7	-46.7%	2	1		5				
	林業	66	57	9	15.8%	20	10	4	8	7	7	10	
畜産水産業	畜産業	36	38	-2	-5.3%	9	1	2	17		3	4	
	水産業	14	14	0	0.0%		7	1			5	1	
商業	小売業	113 (16)	148 (14)	-35	-23.6%	52	10	2	24	11	4	10	
	その他の商業	39	39 (6)	0	0.0%	19	3	2	11		2	2	
通信業		28 (13)	41 (25)	-13	-31.7%	9		2	8	8		1	
保健衛生業	社会福祉施設	77 (6)	71 (4)	6	8.5%	21	10	7	24	9	1	5	
	その他の保健衛生業	18	27	-9	-33.3%	10	1		3	3		1	
接客娯楽業	旅館業	14 (2)	24	-10	-41.7%	4	1	1	5	3			
	飲食店	31 (1)	27	4	14.8%	18	1	1	3	5	3		
	その他の接客娯楽業	13 (1)	15	-2	-13.3%	5			6	2			
その他	ビルメンテナンス業	35 (4)	19	16	84.2%	23		2	8	2			
	その他（上記以外の業種）	116 (15)	110 (14)	6	5.5%	33	13	5	22	17	10	16	
合計		② 1,346 (97)	1,331 (96)	15	1.1%	438	124	79	317	162	102	124	
(注) 平成26年12月末の速報値である。						前年同期	446	94	93	311	164	99	124
数字は死者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。						増減数	-8	30	-14	6	-2	3	0
						増減率	-1.8%	31.9%	-15.1%	1.9%	-1.2%	3.0%	0.0%

[表2]

## 平成26年 死亡災害発生状況 ( 12月31日 現在 )

岩手労働局

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
1	花巻	商業 (新聞販売業)	1月	木	女	70歳代 (30年以上 40年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。	
2	釜石	建設業 (トンネル建設工事業)	1月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	掘削用機械	ドラグ・ショベルで約1mの高さに積みあがった伐採材の上を走行したところ、ドラグ・ショベルのバランスが崩れ横転しそうになったため、ドラグ・ショベルから飛び降り(転落)、横転したドラグ・ショベルの下敷きになった。	国
3	盛岡	商業 (家具・建具・じゅう器 小売業)	1月	土	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で走行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。	
4	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	1月	土	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	トラックの後進誘導を行っていたところ、電柱とトラックの間にはさまれた。	
5	宮古	清掃・と畜業 (その他の廃棄物処理業)	1月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	トラック	ゴミ収集用のトラックの荷台に労働者が乗ったまま走行中、労働者が荷台から道路に転落した。	
6	盛岡	商業 (その他の小売業)	1月	水	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	自動車で走行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。	
7	宮古	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	土	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、転落	はしご等	新築工事現場において、2階に置いてあった保護帽及び工具袋を取りに行くため、高さ2.7mの脚立を上っていたところ、脚立から転落した。	民間
8	盛岡	清掃・と畜業 (ビルメンテナンス業)	2月	火	男	20歳代 (1年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。	
9	盛岡	建設業 (道路建設工事業)	2月	木	男	60歳代 (20年以上 30年未満)	激突され	掘削用機械	道路整備工事現場において砂利を敷き均す作業をしていたところ、バックしてきたドラグ・ショベルに轢かれた。	地方公
10	花巻	製造業 (機械(精密機械を除く) 器具製造業)	2月	金	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	旋盤	加工材を手で保持して旋盤作業を行っていたところ、保持していた加工材が激突した。	
11	一関	教育・研究業 (その他の教育研究業)	3月	水	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	はしご等	ビニールハウスにビニールシートを貼り付ける作業中、高さ3mの三脚脚立から墜落した。	

番号	署別	業種	発生月	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
12	盛岡	商業 (燃料小売業)	3月	木	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	墜落、転落	整地・運搬・積込用機械	トラクターショベルで除雪作業中、トラクターショベルごと用水路に転落しトラクターショベルの下敷きになった。	
13	宮古	建設業 (電気通信工事業)	4月	水	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、バス、バイク	自動車で行中、運転を誤り自動車が道路左側の河川に転落し、同乗していた労働者が死亡した。	
14	大船渡	建設業 (その他の土木工事業)	5月	木	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	はさまれ・巻き込まれ	トラック	ダンプトラックの荷台を上げ整備作業を行っていたところ、ダンプトラックの荷台と車体フレームの間に体をはさまれた。	地方公
15	宮古	その他の事業 (その他)	5月	木	男	60歳代 (1年未満)	崩壊、倒壊	その他の仮設物、建築物、構築物等	海上(漁港内)のボーリング用櫓(やぐら)の足場で労働者3人が測量の作業を行っていたところ、櫓が倒壊したため同3人が海に落ち1人が溺死した。	
16	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業)	7月	土	男	60歳代 (1年未満)	墜落、転落	足場	型枠の洗浄作業終了後、高さ1.8mの足場から前向きに墜落し、腹部を強打した。	民間
17	盛岡	建設業 (電気通信工事業)	7月	木	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	感電	電力設備	動力電源のルート変更工事において、配電盤のブレーカー端子を取り換えるため、ケーブルカッターでブレーカーの活線(200V、225A)の切断作業を行っていたところ、感電した。	民間
18	釜石	製造業 (造船業)	8月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、転落	作業床、歩み板	船の外周に組み立てられた、わく組足場の解体作業中、高さ7.2mの作業床から墜落した。	
19	花巻	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	8月	月	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	飛来、落下	クレーン	木材(60×60×670cm、重さ1.8t)をクレーンでつり上げ、トラックに積み込む作業中、つり上げた木材が並べて置いてあった木材に接触し、その木材が崩れ落ちたため、崩れた木材とトラックの荷台に挟まれた。	
20	宮古	建設業 (道路建設工事業)	8月	土	男	50歳代 (20年以上 30年未満)	激突	整地・運搬・積込用機械	ブルドーザーで押土作業中、ブルドーザーの運転席から転落し、ブルドーザーの履帯に左側腹部を強打した。	地方公

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢 (経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要	発注者
21	大船渡	畜産・水産業 (漁業)	9月	月	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	激突され	クレーン等	定置網に錨ロープ(36mm)を取り付けるため巻きロープ(36mm:錨ロープに取り付けた補助ロープ)をキャブスタンで巻き上げる作業中、海中に錨ロープが絡まっていたことから、錨ロープをクレーンで海上までつり上げたところ、巻きロープが切れ、クレーンのフックが激突した。	
22	宮古	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	10月	木	男	40歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック	ホーム前で3tトラックに荷を積むため後ろの扉を開けている時、トラックが動き出したため止めようと追いかけたところ、別のトラックとの間にはさまれた。	
23	釜石	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	10月	月	男	60歳代 (40年以上 50年未満)	墜落、転落	トラック	道路の支障木を除去しようとして、10tダンプトラックの運転席屋根(高さ2.9m)に上がっていたところ、同屋根から墜落した。	
24	盛岡	鉱業 (採石業)	11月	土	男	30歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、倒壊	地山、岩石	採石場内の法面に発破を装填するための穴をクローラードリルで掘削していたところ、法面の岩盤が崩壊し下敷きとなった。	

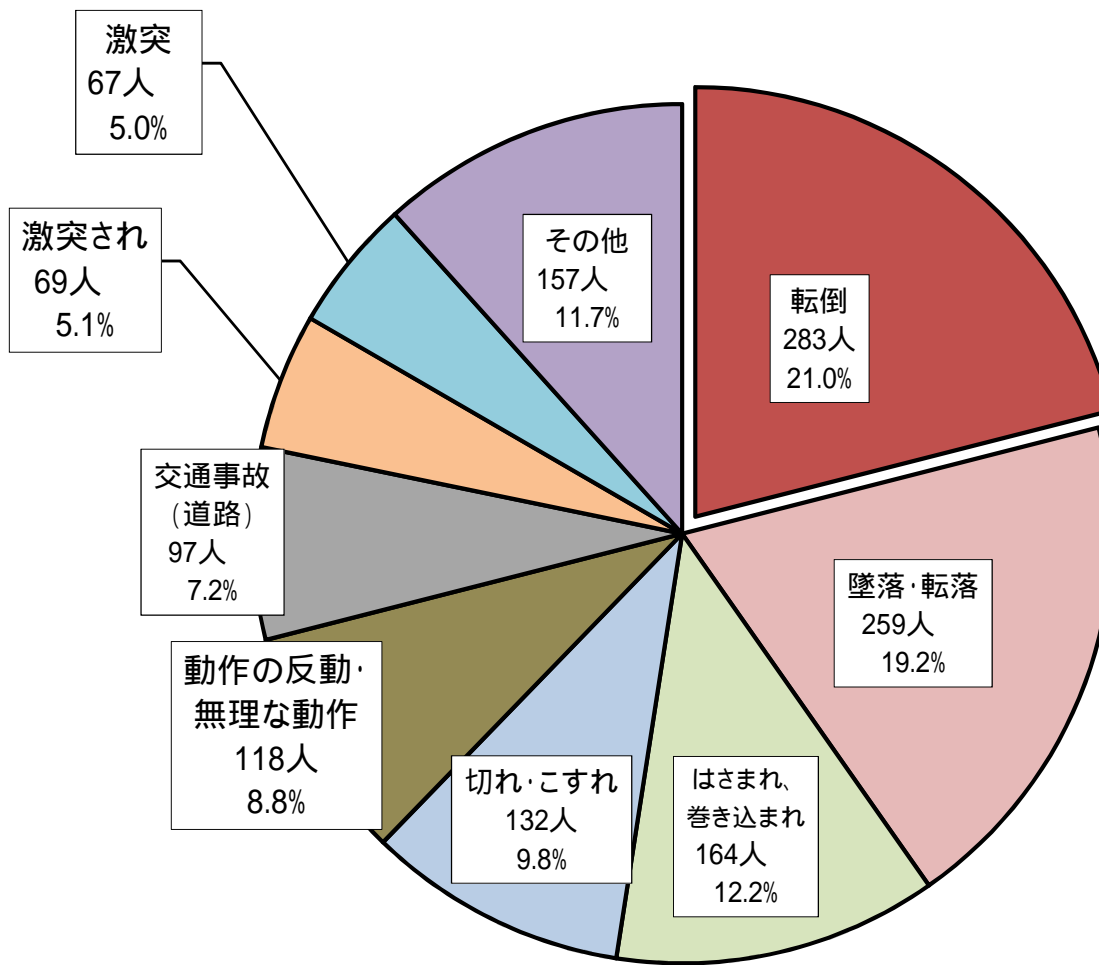
【表3】

12月31日 現在

業種別	製造業 2人 ( 1人)	鉱業 1人 ( 1人)	建設業 8人 ( 4人)	運輸業 4人 ( 2人)	林業 0人 ( 3人)	商業 4人 ( 3人)	左記以外 5人 ( 4人)	24人 (前年同期18人)
	盛岡 8人 ( 2人)	宮古 6人 ( 2人)	釜石 3人 ( 1人)	花巻 4人 ( 2人)	一関 1人 ( 5人)	大船渡 2人 ( 1人)	二戸 0人 ( 5人)	
事故の型別	墜落・転落 8人 ( 5人)	転倒 0人 ( 1人)	飛来・落下 1人 ( 2人)	崩壊・倒壊 2人 ( 0人)	激突され 3人 ( 3人)	はさまれ・巻き込まれ 3人 ( 2人)	切れ・こすれ 0人 ( 0人)	
	おぼれ 0人 ( 0人)	高温の物との接触 0人 ( 0人)	激突 1人 ( 0人)	感電 1人 ( 0人)	破裂 0人 ( 1人)	交通事故 5人 ( 3人)	その他 0人 ( 1人)	

注：( )内は前年同期

【グラフ1】 平成26年(1～12月)労働災害発生状況(事故の型別)  
岩手労働局



平成26年12月末の速報値である。  
数字は死亡者数(内数)である。



岩労発基0108第5号  
平成27年1月8日

関係団体各位

岩手労働局長

平成27年1～2月の労働災害防止対策の重点的取組について（緊急要請）

日頃から、労働災害防止への取組みをはじめとする労働行政に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、「いわて年末年始無災害運動」への取組みにつきまして感謝申し上げます。

さて、平成26年1年間の岩手県内における労働災害による死傷者数（休業4日以上）は、現時点の速報値で1,346人と去年同期比で15人（1.1%）増と、5年連続での労働災害の増加となっており、平成27年は何としても労働災害の増加に歯止めをかけたいと考えております。

今年の冬季の状況は、例年より早い降雪・積雪に加え、12月半ばから厳しい寒さが続き、路面等の凍結による転倒が増加傾向にあり、また、平成26年の労働災害による死亡者数24人のうち10人については、1月～2月に発生し、うち4人が交通事故によるものであり、今年の冬季の状況を踏まえると昨年以上の重篤な交通労働災害の発生が懸念されるところです。

労働災害の増加に歯止めをかけるためには、年当初の1月から2月期にかけての冬季特有労働災害の防止への取組が重要となることから、「いわて年末年始無災害運動」の残りの期間及び2月期において、冬季における「転倒災害防止対策」・「交通労働災害防止対策」を重点的に取り組むこととしました。

つきましては、別添のリーフレットを会員等に周知いただき、各事業場において、当該リーフレットを参考に、冬季における転倒災害防止対策・交通労働災害防止対策の徹底についての取組みがなされるようご配慮をお願いいたします。

なお、当局のホームページへリーフレット（PDF）を掲載しておりますので、御活用くださいますよう重ねてお願いいたします。

# 冬季における転倒災害・交通労働災害防止について

## 冬季における転倒災害の防止

岩手県内において、平成26年1月、2月に発生した転倒による労働災害は、1年間に発生した転倒災害の約1/3を占めています。

今冬の12月も、積雪・凍結路面での転倒災害が多発しています。

平成26年12月の積雪・凍結路面での転倒災害事例

業種	性別	年代	負傷部位等	災害の概要
運輸交通業	男	50代	頭部打撲	出発点呼の後、担当車両に乗込むために事務所を出たところ、路面が凍結していて、滑って転倒した。
接客娯楽業	女	50代	骨折	店舗裏に出たところ、路面が凍結していて、滑って転倒した。
商業	女	40代	ひざ打撲	朝礼の後、倉庫に向かっていたところ、路面が凍結していて、滑って転倒した。
建設業	男	60代	頭部打撲	現場の除雪作業中、降雪した路面が凍結していて、滑って転倒した。

冬季における転倒災害防止対策は、別途作成のリーフレット「冬季の転倒災害を防止しよう！」を参考に取組みをお願いします。

また、積雪・凍結路面等での転倒防止対策を適切に行うため、次のチェックリストで点検をお願いします。

### 転倒災害防止のためのチェックリスト(事業主・管理者用)

	チェック項目	はい	いいえ
1	安全衛生委員会などで、積雪・凍結による転倒災害防止対策を組織的に検討し、具体的な対策をとっていますか？		
2	気象情報を迅速に把握し、積雪・凍結が予想される場合に対応できる連絡体制を構築していますか？		
3	滑りにくい履物を着用させていますか？ また、その着用状況を確認していますか？		
4	労働者からの聴き取りなどにより、危険マップを作成していますか？		
5	危険マップで特定された危険個所の「見える化」を図っていますか？		
6	除雪担当責任者を指名するなど除雪作業の体制は万全ですか？		
7	通勤や屋外作業について、ゆとりをもって行うことができる体制になっていますか？		
8	労働者に対する安全教育や運動指導を行っていますか？		

「はい」の項目はいくつありましたか？

「いいえ」の項目は早急に改善しましょう！

# 冬季における転倒災害・交通労働災害防止について

## 冬季における交通労働災害の防止

岩手県内において、平成26年1月と2月に、交通労働災害による死亡災害が続発しました。

平成26年の1月と2月の交通労働災害による死亡災害事例

業種	発生月	性別	年代	災害の概要
商業	1月	女	70代	新聞配達中に道路を横断していたところ、軽貨物自動車に轢かれた。
商業	1月	男	20代	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、バスと正面衝突した。
商業	1月	男	30代	自動車で行中、凍結路面でスリップしセンターラインをはみ出し、対向車と正面衝突した。
清掃・と畜業	2月	男	20代	軽ワゴン車で走行中、圧雪状態でスリップし、対向車と正面衝突した。

**積雪・凍結路面でのスリップが重篤な災害の原因となっています。**

### 積雪・凍結道路のスリップ事故の要因

- ・ 速度の出し過ぎ
- ・ 急ブレーキや急ハンドルなどの操作ミス
- ・ 路面状態を考慮した運転をしていない など

### 事故防止のポイント

積雪・凍結道路でのスリップは、

- ・ 路外逸脱による、道路下や河川への転落
  - ・ 対向車線へのはみ出しによる、対向車との正面衝突
- など、重大な事故につながりやすく大変危険です。

運転者は、スリップを防止するため、

- ・ カーブの手前で十分に減速する
  - ・ 路面状態を把握し、適した速度で走行する
  - ・ "急"のつく操作(急ブレーキ、急ハンドル、急加速)をしない
- などに努めることが大切です。

また、走行中スリップしたことに驚いて慌てて急ブレーキをかけたため、さらに大きくスリップするケースも多いので、冷静かつ的確な操作が求められます。

### その他

「交通労働災害防止のためのガイドライン」に基づき対策を講じてください。

# 冬季の転倒災害を防止しよう！



## こんな場所は注意が必要！

通路や出入口付近は、人がたくさん通るため、道が踏み固められやすく路面が滑りやすくなっています。また、車が多く出入りするところも同様です。

階段・段差や傾斜のある通路にも気をつけましょう。

雪道を歩いた後にタイル張りの事務所等に入る時は、靴の裏に付いた雪や氷で非常に滑りやすいので注意しましょう。

除雪中や車の乗り降りの際にも転倒災害が発生しています。

## 転倒災害にあわないために！

安心して通行できる通路や安全な作業箇所を確保するため、囲い・除雪・融雪に努めましょう。工事現場の外部足場からの墜落・転落を防止するため、ネットやシートを設置し、足場の積雪・凍結を防止しましょう。

履物は、滑り止め材入り、ピン・金具付き・溝の深いもの等滑り難いものを着用しましょう。

小さな歩幅で、靴の裏全体をつけ、時間に余裕を持って「急がず、ゆっくり」歩きましょう。

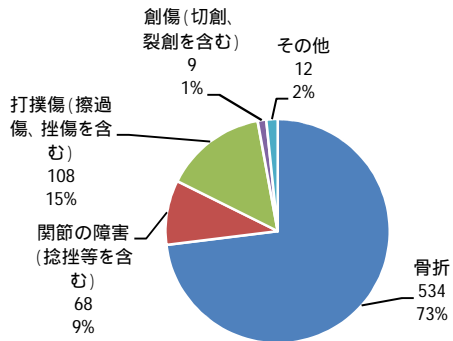
手をポケットに入れたり、荷物などで両手がふさがっている時は、反射的に身体を守れないため、手袋の着用、両手をふさがない工夫・作業方法の選択をしましょう。

滑りやすい場所や歩き方に気を付けていても、転んでしまうことはあります。大きなケガをしないよう、日頃から適度な運動に心掛けましょう。

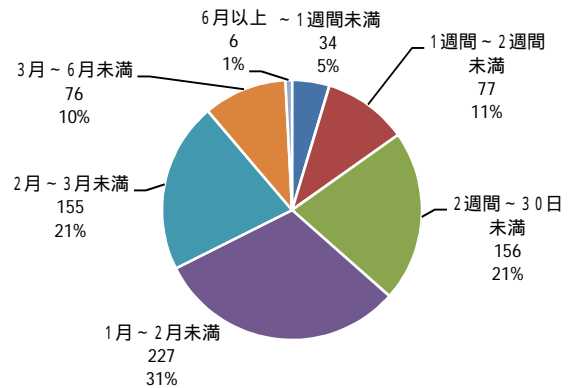
岩手県内で平成20年1月から平成26年3月までに発生した休業4日以上  
の労働災害のうち冬季の転倒災害は731件で、冬季間(11月～3月)に発  
生した労働災害全体のおよそ16%を占めています。

転倒災害の7割が骨折災害となり、休業見込みが1ヶ月以上となる重  
傷災害が6割を超えています。

転倒による負傷の状況(20年1月～26年3月)



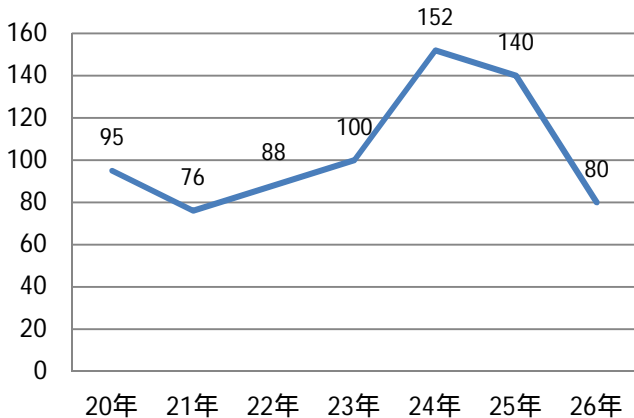
転倒による災害程度(20年1月～26年3月)



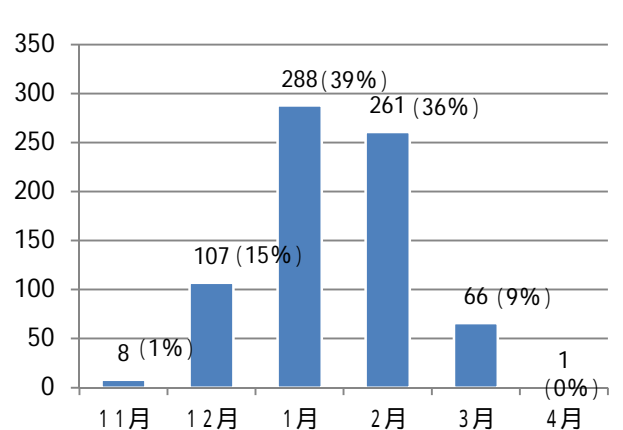
月別では、1月が39%、2月が35%で、この2ヵ月で転倒災害の74%を占めます。  
平成26年は、1月から3月までに80件の転倒災害が発生しています。

注1: グラフの26年は3月末現在の速報値までの件数を集計したものです。

年別発生状況(20年1月～26年3月)



月別発生状況(20年1月～26年3月)



凍結が予想される場合には、朝礼等で周知しましょう

しっかり歩こう!

